

2013年3月期 決算補足資料

1. 決算概観	P.1
2. 業績のポイント	P.2
3. 業績の状況(対前年)	P.3
4. 主要製品売上の状況	P.4
5. 主な子会社の業績と予想	P.5
6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P.6
7. 開発品一覧	P.7~8
【参考資料】	
8. セグメント情報	P.10
9. 損益計算書の概要	P.11~12
10. 貸借対照表の概要	P.13
11. 主な業績項目の推移	P.14
12. 業績と次期予想	P.15
13. 杏林製薬(単体)資料	P.16~19

2013年5月9日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2013年3月期 決算概観(連結)

(単位:百万円)	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	前年比	14年3月期 (予想)	前年比
売上高	99,764	104,069	103,232	107,031	+3.7%	113,000	+5.6%
営業利益	13,261	16,443	14,464	17,948	+24.1%	18,600	+3.6%
経常利益	14,234	17,110	15,275	18,676	+22.3%	19,200	+2.8%
当期純利益	8,848	10,927	9,231	12,422	+34.6%	12,700	+2.2%
1株当たり 当期純利益(円)	118.37円	146.21円	123.54円	166.25円	+34.6%	169.98円	+2.2%
総資産	137,190	147,234	145,673	154,968	+6.4%	—	—
純資産	104,911	111,706	118,201	129,099	+9.2%	—	—

2013年3月期 連結業績(実績)

【売上高】 医薬品事業における新薬事業、後発品事業の売上は前年を上回る実績で推移したことに加え、2012年10月1日に事業を開始したキョーリン製薬グループ工場(株)の売上が寄与し連結売上高は1,070億円(前年比3.7%増)となり、過去最高の売上高となりました。

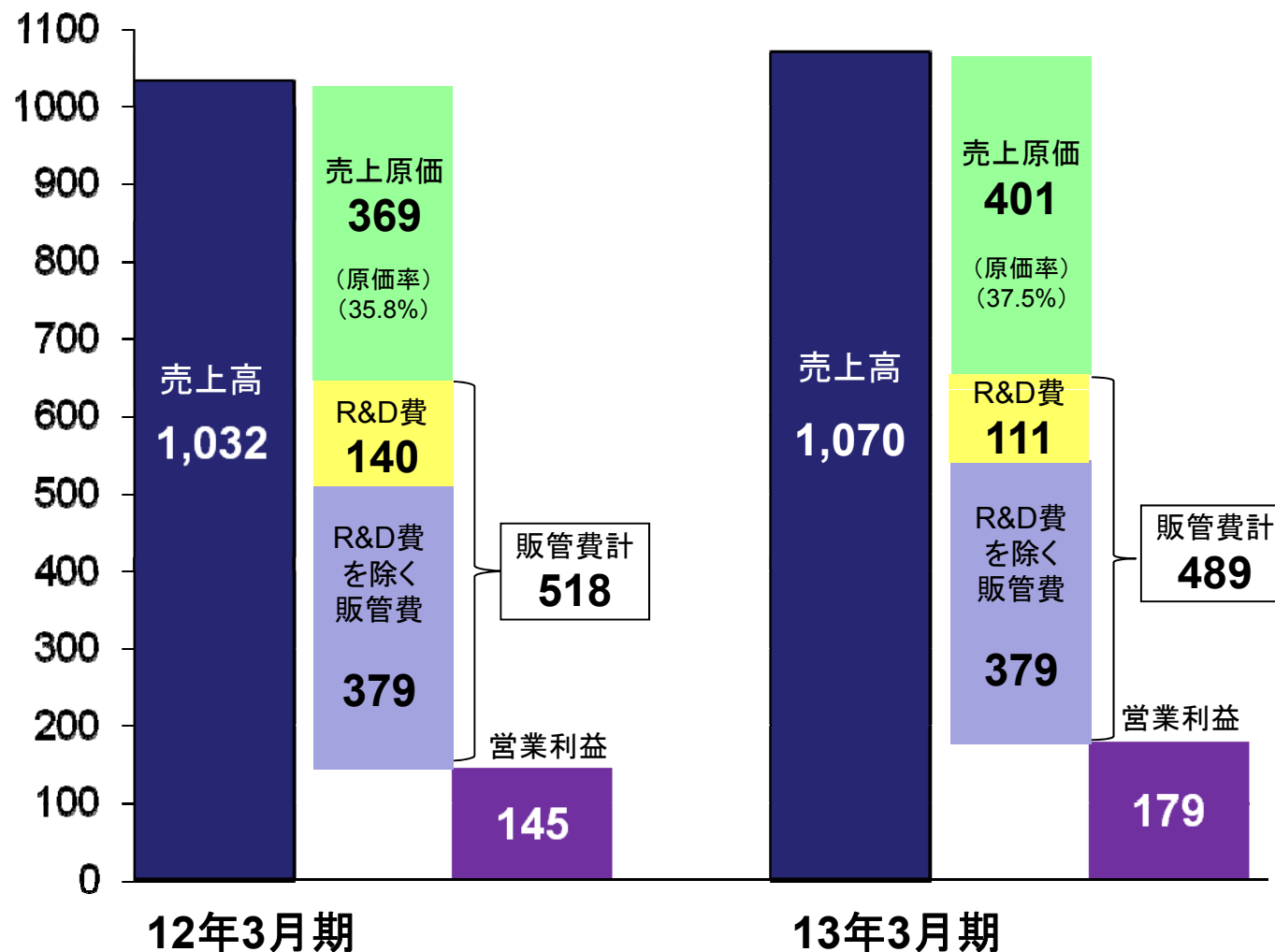
【利益】 薬価改定の影響、キョーリン製薬グループ工場(株)を連結子会社化した影響等により原価率が1.7%ポイント上昇しましたが、増収により売上総利益は前年比で6億円増加し、また販売費及び一般管理費はR&D費の低減(前年比20.8%減)により減少しました。その結果、営業利益は179億円(前年比24.1%増)、当期純利益は124億円(前年比34.6%増)となり、売上高同様に過去最高の利益を更新しました。

2014年3月期 連結業績(予想)

【売上高・利益】 国内新医薬品及び後発医薬品の売上増加、キョーリン製薬グループ工場(株)の売上の通年計上により増収を見込みます。利益面では販売費及び一般管理費の増加を増収により吸収し、増益となる見込みです。その結果、売上高は1,130億円(前年比5.6%増)、営業利益は186億円(前年比3.6%増)、当期純利益は127億円(前年比2.2%増)を見込みます。

2013年3月期 業績(連結)のポイント:対前年

(単位:億円)



ポイント①

- 売上高は38億円増加
 - ・主に国内新医薬品、後発品が伸長
 - ・キョーリン製薬グループ工場の売上寄与

ポイント②

- 売上原価率は1.7ポイント増加
 - ・薬価改定の影響(杏林製薬:6%台)
 - ・後発品の売上増加
 - ・キョーリン製薬グループ工場の影響

➢**売上総利益は6億円増加**

ポイント③

- 販管費は29億円減少
 - ・主にR&D費の減少によるもの

➢**営業利益は34億円増加**

2013年3月期 業績の状況

(単位:億円)

	12年3月期 (実績)	13年3月期 (実績)	対前年
売上高	1,032	1,070	+38
医薬品事業	1,007	1,052	+45
◆新医薬品	880	907	+27
○国内	860	883	+23
○海外	20	24	+4
◆後発医薬品	87	101	+14
◆一般用医薬品他	40	44	+4
ヘルスケア事業 (スキンケア)	26	19	-7
営業利益	145	179	+34
経常利益	153	187	+34
当期純利益	92	124	+32

		対前年	対予算
■売上高	1,070億円	(+38)	(- 8)
◆医薬品事業	1,052億円	(+45)	(- 5)
●国内新医薬品	883億円	(+23)	(- 3)
12.3実績			
13.3実績			
・キプレス	368 ⇒ 396	(+28)	(+16)
・ムコダイン	215 ⇒ 191	(-24)	(-10)
・ペンタサ	180 ⇒ 176	(- 4)	(- 3)
・ウリトス	63 ⇒ 75	(+12)	(- 4)
・キョーリン製薬グループ工場の寄与			
●海外新医薬品	24億円	(+ 4)	(- 1)
・ガチフロキサシン	17 ⇒ 16	(- 1)	(- 1)
●後発医薬品	101億円	(+14)	(- 1)
・保険調剤薬局への売上及び、他社受託生産品の売上増			
●一般用医薬品他	44億円	(+ 4)	(0)
・ミルトン、OTC等の増加			
◆ヘルスケア事業	19億円	(- 7)	(- 2)
・ドクタープログラムの売上減少		(- 7)	(- 2)
■営業利益	179億円	(+34)	(+ 5)
◆営業利益率は16.8%と2.8ポイント上昇			
●原価率:前年比1.7ポイント上昇 (35.8%⇒37.5%)			
薬価改定の影響(杏林製薬:6%台)、後発品の売上増、キョーリン製薬グループ工場の影響			
●研究開発費率:前年比3.2ポイント低下 (13.5%⇒10.3%)			
* 140億円⇒111億円(29億円減少)			
前年にKRP-108 PhⅢ終了、ペンタサ新用法・用量PhⅢ終了、KRP-104の開発中止に伴う費用削減			
●販管費率(除R&D費):前年比1.3ポイント減少 (36.7%⇒35.4%)			
* 379億円⇒379億円			
■当期純利益	124億円	(+32)	(+ 6)
■配当 50円00銭/株(うち、中間配当10円/株)、配当性向30.1%			3

2013年3月期 主要製品売上の状況

(単位:億円)

		09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期		14年3月期 (予想)
						実績	前 同 比	
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	252	292	345	368	396	+7.7%	408
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	206	209	213	215	191	-10.8%	187
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	157	194	194	180	176	-2.0%	186
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	20	37	55	63	75	+18.3%	84
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	50	46	40	34	30	-12.3%	27
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	25	22	22	17	16	-2.2%	16
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	18	19	19	19	20	+8.1%	21

主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	2012年3月期	2013年3月期
売上高	937	959
営業利益	140	171
当期純利益	93	119

2014年3月期(予想)
1,000
177
124

キョーリン リメディオ	2012年3月期	2013年3月期
売上高	96	104
営業利益	3	4
当期純利益	3	5

2014年3月期(予想)
115
4
2

ドクタープログラム	2012年3月期	2013年3月期
売上高	26	19
営業利益	1	-2
当期純利益	0	-3

2014年3月期(予想)
17
1
1

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況(連結) *Kyorin*

健康はキョーリンの願いです。

(単位:百万円)

	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期		14年3月期 (予想)
					実績	増減比	
研究開発費	10,531	11,807	12,495	13,964	11,059	-20.8%	12,100
設備投資	1,612	1,291	1,668	1,952	6,576	+236.8%	4,400
減価償却費	3,799	2,810	2,458	2,363	2,738	+15.9%	3,300

<設備投資の詳細(実績/予想)> (単位:億円)

	12年3月期 (実績)	13年3月期 (実績)	14年3月期 (予想)
工場設備	11	46	16
管理・販売設備	4	14	12
研究用設備	4	5	16

開発品一覧①(2013年5月9日現在)

PhⅢ ~承認

※: 前回(2013年3月期 第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
承認※ (13年3月)		ペンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型 (1日1回投与)	新剤型の開発 PhⅢ終了(12年2月)
申請 (12年9月)	(アメリカ) スカイファーマ : 申請(09年3月) (欧州) ムンディファーマ : 上市(12年9月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息治療剤	イギリス スカイファーマ社	吸入ステロイド薬(ICS:フルチカゾン)及び長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	スカイファーマ社とライセンス契約 (08年4月) 国内PhⅢ終了(12年3月)
PhⅢ (12年9月)	(欧州) アルミラール社 : 上市(12年9月) (アメリカ) フォレスト社 : 上市(12年12月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器: Genuairを使用	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ※ (13年4月)		キプレス (チュアブル錠、 細粒)	気管支喘息治療剤	米国 メルク社	小児: アレルギー性鼻炎	新効能・効果 MSD(株)との共同開発

開発品一覧②(2013年5月9日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

※: 前回(2013年3月期 第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (12年5月)	(欧州) アルミラール社: Ph III (アメリカ) フォレスト社: Ph III	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA: アクリジニウム)と長時間作用性β2刺激薬(LABA: ホルモテロール)の配合剤	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
Ph II (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph II ※ (13年3月)	Ph II (POC) (10年12月) ハルティス	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ハルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph I (11年8月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	
Ph I (12年7月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		

参考資料

2013年3月期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	1,070	+38	179	+34
医薬品事業計	1,052	+45	180	+38
◆新医薬品	907	+27		
○国内	883	+23		
○海外	24	+4		
◆後発医薬品	101	+14		
◆一般用医薬品他	44	+4		
ヘルスケア事業計	19	-7	-2	-3
調整額	-	-	2	0

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

損益計算書の概要：連結①

(単位:百万円)

	12年3月期		13年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	103,232	100.0%	107,031	100.0%	+3.7%	+3,798
医薬品事業	100,654	97.5%	105,162	98.3%	+4.5%	+4,507
◆新医薬品	88,011	85.3%	90,686	84.7%	+3.0%	+2,675
○国内	85,995	83.3%	88,286	82.5%	+2.7%	+2,290
○海外	2,015	2.0%	2,400	2.2%	+19.1%	+385
◆後発医薬品	8,656	8.4%	10,095	9.4%	+16.6%	+1,439
◆一般用医薬品他	3,987	3.9%	4,379	4.1%	+9.8%	+392
ヘルスケア事業	2,577	2.5%	1,869	1.7%	-27.5%	-708

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社8社： 杏林製薬株
Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH
ActivX Biosciences, Inc.
キョーリン リメディオ(株)
キョーリン メディカルサプライ(株)
ドクタープログラム(株)
キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

<当期のポイント>

対前年

■ 売上高 107,031百万円 (+3,798百万円)

● 国内新医薬品 88,286百万円 (+2,290百万円)

12.3実績 13.3実績 (億円)

・キプレス 368 ⇒ 396 (+28)
・ムコダイン 215 ⇒ 191 (-24)
・ペンタサ 180 ⇒ 176 (-4)
・ウリトス 63 ⇒ 75 (+12)

・キョーリン製薬グループ工場の寄与

● 海外新医薬品 2,400百万円 (+385百万円)

・ガチフロキサシン 17 ⇒ 16 (-1)

● 後発医薬品 10,095百万円 (+1,439百万円)

* 保険調剤薬局への売上及び、他社受託生産品の売上増

● 一般用医薬品等 4,379百万円 (+392百万円)

* ミルトン、OTC等の売上増

● ヘルスケア 1,869百万円 (-708百万円)

* ドクタープログラムの売上減

損益計算書の概要：連結一②

(単位:百万円)

	12年3月期		13年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	103,232	100.0%	107,031	100.0%	+3.7%	+3,798
売上原価	36,926	35.8%	40,133	37.5%	+8.7%	+3,207
売上総利益	66,306	64.2%	66,897	62.5%	+0.9%	+591
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	51,842 (13,964)	50.2% 13.5%	48,949 (11,059)	45.7% 10.3%	-5.6% -20.8%	-2,892 -2,904
営業利益	14,464	14.0%	17,948	16.8%	+24.1%	+3,484
営業外収益	879	0.9%	790	0.7%	-10.1%	-88
営業外費用	67	0.1%	62	0.1%	-8.5%	-5
経常利益	15,275	14.8%	18,676	17.4%	+22.3%	+3,401
特別利益	22	0.0%	25	0.0%	+15.4%	+3
特別損失	34	0.0%	98	0.1%	+182.0%	+63
税金等調整前 当期純利益	15,262	14.8%	18,603	17.4%	+21.9%	+3,340
法人税・住民税 及び事業税	5,179	5.0%	5,869	5.5%	+13.3%	+689
法人税等調整額	851	0.8%	312	0.3%	-63.3%	-539
当期純利益	9,231	8.9%	12,422	11.6%	+34.6%	+3,190

<当期のポイント>

◆原価率：前年比1.7ポイント上昇
(35.8%→37.5%)

* 薬価改定の影響(杏林製薬:6%台)、後発品の売上増、
キョーリン製薬グループ工場の影響

◆研究開発費率：前年比3.2ポイント低下
(13.5%→10.3%)

* 140億円→111億円(29億円減少)
前年にKRP-108 PhⅢ終了、ベンダ新用法・用量PhⅢ終了、
KRP-104の開発中止に伴う費用削減

◆販管費率(除R&D費)：前年比1.3ポイント低下
(36.7%→35.4%)

* 379億円→379億円

■営業利益 17,948百万円 (+3,484百万円)

* 営業利益率は16.8%と2.8ポイント上昇

■当期純利益 12,422百万円 (+3,190百万円)

■配当 50円00銭/株(うち、中間配当10円/株)
配当性向30.1%

貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	12年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	99,850	68.5%
現金及び預金	21,615	—
受取手形及び売掛金	45,067	
有価証券	7,372	
棚卸資産	20,738	
その他流動資産	5,056	
固定資産	45,822	31.5%
有形固定資産	14,544	—
無形固定資産	846	
投資その他	30,431	
資産合計	145,673	100.0%

流動負債	23,385	16.1%
支払手形及び買掛金	9,043	—
その他流動負債	14,341	
固定負債	4,086	2.8%
負債合計	27,471	18.9%
株主資本	117,931	81.0%
その他の包括利益累計額	269	0.2%
その他有価証券評価差額金	537	—
為替換算調整勘定	—267	
純資産合計	118,201	81.1%
負債及び純資産合計	145,673	100.0%

13年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
108,265	69.9%	+8,414
21,370	—	—
46,555		
11,667		
19,938		
8,733		
46,702	30.1%	+880
18,209	—	—
916		
27,577		
154,968	100.0%	+9,295

22,897	14.8%	—487
8,556	—	—
14,341		
2,970	1.9%	—1,115
25,868	16.7%	—1,603
126,985	81.9%	+9,054
2,113	1.4%	+1,843
2,293	—	—
—180		
129,099	83.3%	+10,898
154,968	100.0%	+9,295

<当期のポイント>

■ 流動資産：+8,414百万円

- ・現金及び預金の減少 (—245百万円)
- ・受取手形及び売掛金の増加 (+1,487百万円)
- ・有価証券の増加 (+4,295百万円)
- ・棚卸資産の減少 (—800百万円)
- ・その他流動資産の増加 (+3,677百万円)

■ 固定資産：+880百万円

- ・有形固定資産の増加 (+3,665百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+70百万円)
- ・投資その他の減少 (—2,854百万円)

■ 流動負債：—487百万円

- ・支払手形及び買掛金の減少 (—486百万円)
- ・その他流動負債の減少 (—0百万円)

■ 固定負債：—1,115百万円

主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	90,889 (3,830)	99,764 (2,693)	104,069 (2,784)	103,232 (2,015)	107,031 (2,400)	113,000 (2,100)
売上原価 (売上原価率)%	36,791 (40.5%)	37,477 (37.6%)	37,554 (36.1%)	36,926 (35.8%)	40,133 (37.5%)	—
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	45,146 (49.7%)	49,025 (49.1%)	50,071 (48.1%)	51,842 (50.2%)	48,949 (45.7%)	—
うち研究開発費 (研究開発費率)%	10,531 (11.6%)	11,807 (11.8%)	12,495 (12.0%)	13,964 (13.5%)	11,059 (10.3%)	12,100 (10.7%)
営業利益 (営業利益率)%	8,952 (9.8%)	13,261 (13.3%)	16,443 (15.8%)	14,464 (14.0%)	17,948 (16.8%)	18,600 (16.5%)
経常利益 (経常利益率)%	9,208 (10.1%)	14,234 (14.3%)	17,110 (16.4%)	15,275 (14.8%)	18,676 (17.4%)	19,200 (17.0%)
当期純利益 (当期純利益率)%	2,037 (2.2%)	8,848 (8.9%)	10,927 (10.5%)	9,231 (8.9%)	12,422 (11.6%)	12,700 (11.2%)
一株当たり当期利益(円)	27.24円	118.37円	146.21円	123.54円	166.25円	169.98円
資本金	700	700	700	700	700	—
総資産	124,552	137,190	147,234	145,673	154,968	—
株主資本	97,513	104,907	112,076	117,931	126,985	—
純資産	96,501	104,911	111,706	118,201	129,099	—
一株当たり純資産(円)	1,290.67円	1,403.60円	1,494.83円	1,581.94円	1,727.86円	—
自己資本利益率%	2.1%	8.8%	10.1%	8.0%	10.0%	—
自己資本比率%	77.5%	76.5%	75.9%	81.1%	83.3%	—
人員(人)	2,247人	2,246人	2,294人	2,297人	2,444人	—
設備投資	1,612	1,291	1,668	1,952	6,576	4,400
減価償却費	3,799	2,810	2,458	2,363	2,738	3,300

2013年3月期実績と2014年3月期予想

(単位:百万円)

	12年3月期 (実績)	13年3月期 (実績)	14年3月期 (予想)	対前年	
				増減額	増減率(%)
売上高	103,232	107,031	113,000	+5,969	+5.6
医薬品事業	100,654	105,162	111,300	+6,138	+5.8
◆新医薬品	88,011	90,686	95,600	+4,914	+5.4
○国内	85,995	88,286	93,500	+5,214	+5.9
○海外	2,015	2,400	2,100	-300	-12.5
◆後発医薬品	8,656	10,095	11,100	+1,005	+10.0
◆一般用医薬品他	3,987	4,379	4,600	+221	+5.0
ヘルスケア事業 (スキンケア)	2,577	1,869	1,700	-169	-9.0
営業利益	14,464	17,948	18,600	+652	+3.6
経常利益	15,275	18,676	19,200	+524	+2.8
当期純利益	9,231	12,422	12,700	+278	+2.2

損益計算書の概要：杏林製薬一①

(単位:百万円)

	12年3月期		13年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	93,697	100.0%	95,894	100.0%	+2.3%	+2,197
医薬品事業	93,697	100.0%	95,894	100.0%	+2.3%	+2,197
◆新医薬品	87,899	93.8%	88,975	92.8%	+1.2%	+1,075
○国内	85,995	91.8%	86,698	90.4%	+0.8%	+702
○海外	1,904	2.0%	2,277	2.4%	+19.6%	+373
◆後発医薬品	3,206	3.4%	4,116	4.3%	+28.4%	+909
◆一般用医薬品他	2,591	2.8%	2,802	2.9%	+8.2%	+211

<当期のポイント>

対前年

- 売上高 95,894百万円 (+2,197百万円)
- 国内新医薬品 86,698百万円 (+702百万円)
 - 12.3実績 13.3実績 (億円)
 - ・キプレス 368 ⇒ 396 (+28)
 - ・ムコダイン 215 ⇒ 191 (-24)
 - ・ペンタサ 180 ⇒ 176 (-4)
 - ・ウリトス 63 ⇒ 75 (+12)
- 海外新医薬品 2,277百万円 (+373百万円)
 - ・ガチフロキサシン 17 ⇒ 16 (-1)
- 後発医薬品 4,116百万円 (+909百万円)
 - ・主にキョーリンリメディオ(物流統合)による売上
- 一般用医薬品他 2,802百万円 (+211百万円)
 - ・ミルトン 19 ⇒ 20 (+1)

損益計算書の概要：杏林製薬一②

(単位:百万円)

	12年3月期		13年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	93,697	100.0%	95,894	100.0%	+2.3%	+2,197
売上原価	32,046	34.2%	33,868	35.3%	+5.7%	+1,822
売上総利益	61,650	65.8%	62,025	64.7%	+0.6%	+374
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	47,679 (13,472)	50.9% (14.4%)	44,898 (10,733)	46.8% (11.2%)	-5.8% -20.3%	-2,780 -2,739
営業利益	13,971	14.9%	17,127	17.9%	+22.6%	+3,155
営業外収益	1,179	1.3%	1,100	1.1%	-6.7%	-79
営業外費用	24	0.0%	19	0.0%	-22.1%	-5
経常利益	15,126	16.1%	18,209	19.0%	+20.4%	+3,082
特別利益	22	0.0%	25	0.0%	+14.2%	+3
特別損失	22	0.0%	81	0.1%	+260.2%	+58
税引前当期純利益	15,126	16.1%	18,152	18.9%	+20.0%	+3,026
法人税・住民税 及び事業税	5,100	5.4%	5,635	5.9%	+10.5%	+534
法人税等調整額	751	0.8%	585	0.6%	-22.1%	-165
当期純利益	9,274	9.9%	11,931	12.4%	+28.7%	+2,657

<当期のポイント>

◆原価率：前年比 1.1ポイント上昇
(34.2%→35.3%)

* 上昇要因：後発品の売上増加、薬価改定(6%台)

◆研究開発費率：前年比 3.2ポイント低下
(14.4%→11.2%)

* 135億円→107億円(28億円減少)

前年にKRP108 PhⅢ終了、ペンタサ新用法・用量PhⅢ終了
KRP-104の開発中止に伴う費用削減

◆販管費率(除R&D費)：前年比0.9ポイント低下
(36.5%→35.6%)

■営業利益 17,127百万円(+3,155百万円)

* 営業利益率は17.9%と3.0ポイント上昇

■当期純利益 11,931百万円(+2,657百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位:百万円)

	12年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	80,542	66.0%
現金及び預金	9,444	
売掛金	42,046	
有価証券	7,309	—
棚卸資産	17,877	
その他流動資産	3,863	
固定資産	41,443	34.0%
有形固定資産	11,497	
無形固定資産	388	—
投資その他	29,558	
資産合計	121,985	100.0%

13年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
84,041	69.0%	+3,499
7,192		
43,320		
11,604	—	—
16,615		
5,308		
37,840	31.0%	-3,603
11,340		
284	—	—
26,215		
121,881	100.0%	-103

流動負債	16,526	13.5%
支払手形及び買掛金	6,609	
その他流動負債	9,916	—
固定負債	3,281	2.7%
負債合計	19,807	16.2%
株主資本	101,652	83.3%
評価・換算差額等	525	0.4%
純資産合計	102,177	83.8%
負債及び純資産合計	121,985	100.0%

16,880	13.9%	+354
5,445		
11,435	—	—
2,156	1.8%	-1,125
19,037	15.6%	-770
100,586	82.5%	-1,065
2,257	1.9%	+1,732
102,844	84.4%	+666
121,881	100.0%	-103

<当期のポイント>

■流動資産： +3,499百万円

- ・現金及び預金の減少 (−2,252百万円)
- ・売掛金の増加 (+1,273百万円)
- ・有価証券の増加 (+4,295百万円)
- ・棚卸資産の減少 (−1,261百万円)

■固定資産： −3,603百万円

- ・有形固定資産の減少 (−156百万円)
- ・無形固定資産の減少 (−104百万円)
- ・投資その他の減少 (−3,343百万円)

■流動負債： +354百万円

- ・支払手形及び買掛金の減少 (−1,164百万円)
- ・その他流動負債の増加 (+1,518百万円)

■固定負債： −1,125百万円

主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位:百万円)	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	77,962 (3,148)	85,308 (2,563)	92,531 (2,642)	93,697 (1,904)	95,894 (2,277)	100,000 (1,900)
売上原価 (売上原価率)%	29,551 (37.9%)	28,374 (33.3%)	31,227 (33.7%)	32,046 (34.2%)	33,868 (35.3%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	39,894 (51.2%)	43,795 (51.3%)	45,658 (49.3%)	47,679 (50.9%)	44,898 (46.8%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	10,056 (12.9%)	11,121 (13.0%)	11,867 (12.8%)	13,472 (14.4%)	10,733 (11.2%)	11,300 (11.3%)
営業利益 (営業利益率)%	8,517 (10.9%)	13,139 (15.4%)	15,645 (16.9%)	13,971 (14.9%)	17,127 (17.9%)	17,700 (17.7%)
経常利益 (経常利益率)%	9,463 (12.1%)	14,580 (17.1%)	16,729 (18.1%)	15,126 (16.1%)	18,209 (19.0%)	18,600 (18.6%)
当期純利益 (当期純利益率)%	4,041 (5.2%)	9,472 (11.1%)	10,732 (11.6%)	9,274 (9.9%)	11,931 (12.4%)	12,400 (12.4%)
一株当たり当期利益(円)	54.42円	127.54円	144.51円	124.88円	160.66円	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	—
総資産	108,522	119,822	122,661	121,985	121,881	—
株主資本	89,328	95,384	95,719	101,652	100,586	—
純資産	88,470	95,505	95,573	102,177	102,844	—
一株当たり純資産(円)	1,191.24円	1,285.95円	1,286.87円	1,375.79円	1,384.77円	—
自己資本利益率%	4.6%	10.3%	11.2%	9.4%	11.6%	—
自己資本比率%	81.5%	79.7%	77.9%	83.8%	84.4%	—
人員(人)	1,716人	1,724人	1,804人	1,798人	1,797人	—
設備投資	969	1,051	1,019	1,425	1,507	2,800
減価償却費	3,042	2,198	1,968	1,790	1,743	1,800